

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

長崎県

行事名称	「文化財防火デー」に伴う防火訓練【県指定文化財：江袋教会】
実施期間・日時	令和2年2月2日（日）10：30～11：30
実施場所	長崎県南松浦郡新上五島町曾根郷195番地2 江袋教会一帯
主催者	新上五島町教育委員会・新上五島町消防署

■実施内容

訓練の想定

日曜日のミサ中にストーブから出火し、信徒が消火を試みるも失敗。他の可燃物へ燃え広がったので、屋外へ避難しようと教会出入り口ドアを開放したところ、強風が吹き込み延焼拡大する。慌てて避難していた信徒1名が転倒、足を負傷し教会内で動けなくなったもの。

訓練の内容

- ① 実状の体制で消防訓練（避難訓練）を併行して行う。
- ② 出動訓練
- ③ 通信訓練（防災行政無線及び消防救急無線の効果的な活用）
- ④ 火災防ぎょ訓練（水利部署、ホース延長、筒先配置）
- ⑤ 避難誘導訓練

参加者及び役割分担

- ・主任司祭、教会代表、江袋地区住民（25名）119番通報、初期消火、礼拝者の誘導、消火器訓練
- ・消防団（49名）避難者の誘導、放水訓練、給水訓練、交通誘導
- ・消防署（19名）全体統括、放水訓練、救出訓練、要救助者の医療機関搬送
- ・新上五島町教育委員会・消防防災室・文化財職員（5名）：現場立会い、講評（合計；98名参加）

特に工夫した点

- ・建造物等に直接あたらないように注意し、教会前の階段に放水した。
- ・要救助者の避難訓練についてもダミーを配置し、より実践に近い訓練をおこなった。

問題点・課題

- ・実際に火災が発生した際、教会からバス停までが坂道であるため、足が不自由な方や高齢者等が避難する際に時間を要する。
- ・防火水槽からの長距離放水となるため、小型ポンプの配置等、再確認する必要がある。

その他

5年ぶりに県指定文化財「江袋教会」での消防訓練を行ったが、今後も毎年実施し、万が一の時に備えて役に立つよう地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となるよう努める。

訓練風景



▲救助者の搬送



▲一斉放水



▲消火器訓練